

	SSKP 発行 全国脊髄損傷者連合会 神奈川県支部 〒246-0006 横浜市瀬谷区上瀬谷町26-28 電話 045-922-6324 編集人 山崎 昇
---	---

ホームページ <http://www.maxhi-ho.ne.jp/yawaragi/>
メールアドレス yawaragi@max.hi-ho.ne.jp



相談窓口設置など新しい取り組みを決めた本年度の支部総会

全国総会開催される 3

支部長 山崎 昇

第29回支部総会及び

セミナー・懇親会 開催 4～5

上手に食べて元気アップ 6～7

初めての料理教室で男性陣おおいに腕を振るう

女性部長 赤城 喜久代

重度障害者の医療費助成制度 8～9

「マル障」の見直しに反対

妻屋 明

快適消臭パンツ

「ゆにぼ」 10

第四回吹矢大会 開かれる

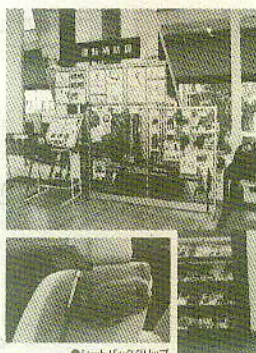
会員動向 11



神奈川トヨタ 暮らし方上手をお手伝い 福祉・介護カーショップ

乗る人、乗り方、いろいろあります。
たのしいクルマ、いろいろ作ります。

神奈川トヨタ取扱いの福祉車輛「ウエルキャブ」のワイドバリエーションはもちろん、
現在お乗りの車もメーカーを問わず、お客さまのご要望にあわせて改良いたします。



●ステアリングホイールアップ

●エブリデー電動4輪車



介護・自立がテーマの高機能商品、
ご提案します。

たとえば段差昇降機や電動クルマ椅子など、
介護をする方にもされる方にも、便利で高機能
な商品を集めました。

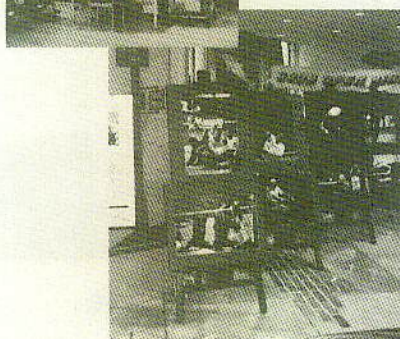


いろいろな公的補助、
アドバイスやご提案します。

福祉車輛のお求めや改良に際し、国や地方自治体
では各種貸し付け・助成制度や優遇税制制度を
用意しています。助成条件のご案内はもちろん、
申し込み方法などお客さまと一緒に考えて参り
ます。

自分らしく日々を暮らすご相談、なんなりと。

スタッフは福祉車輛改造のスペシャリストを始め、日本
チェアスキー協会会長・元日本障害者スポーツ協会理事
伊佐幸弘氏など、強力スタッフ陣がお待ちしております。



レジャー&スポーツの楽しみ方、
ご提案します。

グッドオープンエアズ・マイクスと連携、
初心者から楽しめるスポーツ&レジャーを
ご紹介。バスケットボールやチェアスキーは
当ショップのおすすめメニューです。



Welcab
PRIUS
ウエルキャブ
新登場

Photo: プリウスS 助手席回転スライドシート車
"Bタイプ"（車いすはオプション）



横浜市神奈川区栄町7-1 マイクスビル2F TEL:045(459)2112
営業時間/10:00~20:00 www.kanagawatoyota.com



TOYOTA

神奈川トヨタ

全国総会 開催される

平成十九年度 第六回総会東京大会が平成十九年六月十六日(土)～十七日(日)に東京スポーツ文化館で行われました。

今年度は本部担当での開催となりました。

第一日目 午後より記念式典 総会 記念撮影と日程表どおり終了いたしました。

毎回の事ですが、総会は、事業報告、決算報告、監査報告、次年度事業案、予算案、役員改選案と承認の賛否を行う場と思っていますが、今年度もその日になって、ある支部より定款改正案が出されて、大変混乱したように思います。

議題にあがっている改正案なら、各支部代表者は事前にそれなりの意見を支部役員で検討できるのですが、その場で提出して、賛否を取るといえるのは無理に思えました。次年度に向けての改正案なら分かりますけれども、本部要望及び提案事項もあることです。いかがなものでしょうか。

次期全国総会開催県を千葉県支部とし、大会スローガンの採択をし、無事終了となりました。

二日目 「障害者自立支援法と介護保険法について」。厚生労働省障害福祉課の方の講演、その後質疑応答がなされました。

午後からは「障害者差別法について」の講演。講師として東俊裕氏 弁護士(東法律事務所)より、今まで自身が関わってきた案件について話されました。実際に体験された話でしたので、皆さんも真剣に聞き入っていました。

最後に「全脊連の活動について」。大阪支部長より、説明

がありました。支部として、今活動している状態、今後の活動について話されました。

また、千葉県支部長からは、会員増強について、リハビリ

センターに協力をお願いしてピ

アマネージャー

の活動で会員増

強をしている、

等の活動報告が

されました。

毎年思うこと

ですが、役員、

会員の皆さんが

三、四日間かけ

て討議するため

に、北海道、沖

縄から参加して

来ます。本部を

はじめ支部の皆

さんの活動によ

って実っている

ことなのだと実

感いたしました。

支部長 山崎 昇



活発な意見交換が交わされた全国総会が開催された

第29回支部総会及びセミナー・懇親会 開催

支部相談窓口の 設置決まる

路川副支部長が担当

電話 046-227-0165

七月一日に開催された第二十九回、平成十九年度の支部総会では、湘南協会主催の「地引網とバーベキュー」の開催など、これまでの支部活動はじまつて以来の行事の多い年度となった平成十八年度の活動報告から始まりまし
た。
それに伴う決算報告と会計監査報告が引き続き行われましたが、全会一致で原案通り了承されました。

また、平成十九年度事業計画では、これまで行ってきた事業に加えて、これから本格的にピアサポート活動を実施していくために、新たに支部相談窓口の設置を提案し、他の十五項目の活動計画とともに全会一致で了承されました。

このほか平成十九年度支部役員改選が行われ、神奈川県支部長に山崎昇さんが再選され、支部相談窓口担当役員に路川十九夫副支部長が選任されました。

また、協会長として、川崎協会長・澤藤充教、西湘協会長・宝子山正博氏が今後協会長として、活躍することになりました。新たな相談窓口活動とともに、今後の支部活動が期待されます。

平成十九年度支部役員

支部長	山崎昇
副支部長	路川十九夫
副支部長	赤城喜久代
事務局長	妻屋明
財政部長	田安男
労働福祉部長	新田輝一
厚生福祉部長	山崎敏夫
文化部長	大井知子
体育部長	（兼）川十九夫
女性部長	（兼）赤城喜久代
監査	杉山光子
監査	路川みどり

（協会長）

川崎協会長	澤藤充教
横浜協会長	新田輝一
県央協会長（代）	路川十九夫
湘南協会長	森田久一
西湘協会長	宝子山正博

支部相談窓口担当 路川 十九夫
電話 046-227-0165

支部相談窓口では、会員はもちろんのこと、会員外の脊髄損傷者の方に対しても福祉制度やサービス手続きなどの情報提供から、脊損に関するさまざまなご相談について、全脊連のピアマ

ネジャーの立場から相談に応じます。
あなたの知人や友人にもお知らせいた
だいてもかまいません、どうぞお気軽
にお電話して下さい。

適正運転のための 心理テストをどうぞ！

十五時より、講師として、社団法人
日本自動車連盟神奈川支部の方をお招
きして、交通安全講習会が開催されま
した。

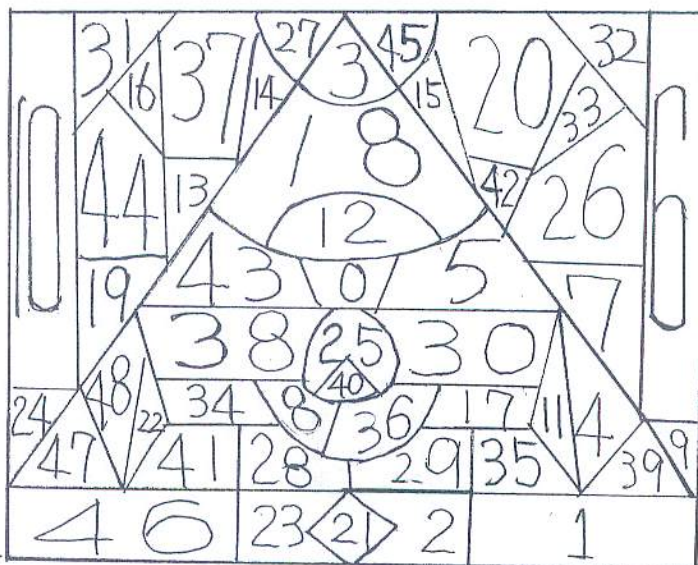
JAFデータから見た安全運転術。
まずは、正しい運転姿勢、後席でシー
トベルトを締めなかった場合につい
て、ビデオによる実車衝突テスト、注
意力テスト、事故発生時における、人
的要因の図式として、操作、判断、認
知の遅れ・誤り、ドライバーの内在的
事故原因、高齢者の事故の特徴などが
講義されたが、私は最後の高齢者の事
故の特徴が身にしみて考えさせられま
した。

これから何年運転できるか、いつ運
転を止めるのか。皆さんも一度交通安
全の講習を受けてみてください。

JAF 集中力テスト

●あなたの集中力は大丈夫！？

集中力、きっとそれはだれにでも備わった能力。人によってそのパワーが
違うのは、経験の差かもしれない。自分の集中度を軽い気持ちでチェック
してみよう。集中力アップに少しは役立つかも。



数字の順を追っていきますが、人によって1分から5分かかるようです。
1から始めて途中で0を発見したら、また最初からもどるか、続けるか、
どう転換をはかるか、自分の心理をわきまえてみてください。
集中力を高める心理作用をいろいろ試してみてください。

上手に食べて元気アップ

―初めての料理教室で男性陣おおいに腕を振るう―

女性部長 赤城 喜久代

初めての料理教室を三月に行いました。講師に、七沢リハビリテーション病院・脳血管センター栄養課の志村好枝先生をお迎えし、二品を作ることにしました。

今回は初めてということもあり、市販のお弁当に何かを足して、お弁当だけでは偏りがちな、栄養のバランスの取れた食事ということに重点をおきました。その結果、メニューはけんちん汁とほうれん草のおひたしという、野菜いっぱいできわめてヘルシーな、それでいて栄養的にはバランスのとれた食事になったと思われます。

男性陣はほとんどが家では何もしない、それこそ「横のものを縦にもしない」人たちに見受けられましたが、率先して料理作りに参加していることにはおどかされました。

けんちん汁の材料には、ごぼう・に

んじん・大根・こんにゃく・ねぎ・豆腐など。先生が、大根は「いちよう切りに」とおっしゃったのですが、適当に切っていたら、それを見ていたある男性から「それはいちよう切りじゃない」などとクレームをつけられ「案外知っているじゃないか」と思われるほど、詳しい御仁もいらっしゃいました。

味付けも、その男性が担当してくれましたが、野菜だけでしつかり味を出します。そしてその微妙な味加減に、ごま油のちよつとしたさじ加減がものをいうことを知り、ごま油の役割を又一つ知り得たようです。

普段、けんちん汁などはあまり作ったことがなく、どちらかといえばその材料なら「トン汁」になる私ですが、野菜いっぱいのかんちん汁は、私にはもってこいのメニューかも知れません。



けんちん汁とほうれん草のおひたし とお弁当

最後は二班に分かれて、同じけんちん汁を作り食べ比べてみましたが、お塩を控えめにしたほうが野菜の味がより引き立ち、おいしかったような気がします。

食事の後は、志村先生から六つの食品グループについての話を伺いました。

生活習慣病という言葉は分かっているのですが、なかなか自分事としては捕らえることは難しいものです。

炭水化物、たんぱく質、脂肪分、ビタミン・ミネラルなどをいかにしてバランスよく採るか、そして食べすぎに注意し、食塩を減らすということも非常に重要なことだということを改めて認識しました。

漬物やラーメン・うどんの汁など、食塩はあらゆるものに含まれています。必要以上のお醤油やおソースの採りすぎにはくれぐれも注意しなくてはなりません。ラーメン・うどんの汁は残すといひなど、ちよつとした塩分の減らし方なども教えていただき、とても参考になりました。

まとめると、生活習慣を見直すためには、まず食塩を控えるにす。果物野菜を採り、三食バランスのよい食事を心がけること。そしてゆっくりかんで食べ、適正な体重の管理と適度な運動、そして水分を十分に取り、よく眠ることに尽きるのでは。

一年に一度くらい栄養や食事について話を聞くのも、生活習慣病を防ぐためには必要なことではないかと思つた一日でした。



男性陣が大活躍



この鍋と味を競いました



「おれに任せろ」という感じです

重度障害者の医療費助成制度

「マル障」

の見直しに反対

所得制限・一部負担金の導入

対象者の見直し

妻屋 明

このところ、自立支援法による応益負担をはじめ、補装具や日常生活用具にも負担金がかかるようになるなど、私たちはこれまでにない厳しい時代を迎えています。

そんななかで、事であろうに今度は神奈川県においても、新たに重度障害者に対する医療費助成制度、いわゆるマル障が見直されようとしています。

重度障害者医療費助成制度の

見直しの内容

私たちは、現在国民健康保険による医療費の三割負担は、重度障害者医療

費助成制度、いわゆるマル障によって免除され安心して医療が受けられるようになっていますが、神奈川県はこれに次のように見直し、重度障害者に新たな自己負担金を導入しようとしています。

1、所得制限の導入

障害者本人所得が360万4千円を超える者は、制度の対象外とする。このため、本人の所得を確認する。

2、対象者の見直し

重度障害者になった年齢が六十五歳以上である者は、制度の対象外とする。

3、一部負担金の導入

受診ごとに定額を徴収する。

◎通院の場合

受診一回ごとに、200円。（ただし、調剤は除く）

◎入院の場合

入院一日ごとに、100円。

4、見直しの実施時期

平成二十年十月以降

見直しの経緯

昭和四十七年に脊損連合会からの運動の成果により創設された、障害者の医

療費助成制度、いわゆるマル障制度を見直し、現在医療費の全額助成が受けられる重度障害者を対象に、新たに所得制限の導入、一部負担金の導入、対象者の見直し、など抜本的なマル障制度の見直しについての方針が、去る七月二十二日に行われた神奈川県障害者施策説明会で発表されました。

それによると、神奈川県が各市町村に対して「重度障害者医療費助成」「小児医療費助成」「ひとり親家庭医療費助成」の三つの各事業費が医療保険制度の改正と対象者の増加によって年々大きく増加しています。そのことはまた、各市町村も同じ状況であるため、平成十七年八月に県と十一市町で構成する「医療費助成関係事務研究会」を立ち上げ、検討がすすめられました。

その結果研究会は、「この三つの医療費助成制度の将来にわたる安定的且つ継続的な運営を図るため、という理由で、一部負担金の導入、所得制限の導入、対象者の見直しなど抜本的な制度の見直しを行うべきであり、平成二十年の十月以降の実施とする」との結論をまとめました。

この結論は、今年四月に全市町村担

当部長連名による要望書として神奈川県保健福祉部長宛に提出したということです。

問題は、この要望書を受けた神奈川県としての受け止め方です。

・ 検討会における多くの議論を踏まえている。

・ きめ細かい配慮が盛り込まれている。

として、この報告を十分尊重する必要があると見直しに積極的な姿勢です。

神奈川県松沢知事も、この六月の県議会で「報告書の内容に基づき制度の見直しを行いたい」と答弁しました。

しかし、医療費助成制度見直し検討会は、県と一部の市町村のみで非公開で行われ、私たち制度の対象者や一般県民、そして慎重審議を求めた市町村の意見を聞かずに拙速に報告書をまとめたといわれています。

制度見直しを検討してきた県は、八月までに結論をまとめ、九月十三日からはじめまる県議会の冒頭に松沢知事が、来年十月以降の見直しの実施を表明するといわれています。

県内の

障害者や患者団体の動き

今回の問題は、「重度障害者医療費助成制度」のほかに、小児医療費助成制度と「ひとり親家庭等医療費助成制度」の三つの医療費助成制度全てに対して、通院一回ごとに200円、入院一日ごとに1000円という自己負担金の導入が盛り込まれているため、腎友会や日本ALS協会をはじめ県内の障害者や患者団体など十三団体が集まり「障害者と患者の医療 福祉を考える連絡会」が結成されました。

同連絡会は、三制度の有料化と縮小に反対をし、助成制度の維持と拡充を求めて県当局と議会に対して署名活動や要請行動などの運動をすすめています。

神奈川県支部は

制度見直しに反対します

「昭和四十七年四月、全脊連の『鼓動会』が津田文吾神奈川県知事に要請していた、重度障害児者(一・二級)に対する医療費公費負担制度がこの年

初めてスタートした。

これがきっかけとなって約三年間でほぼ全国にこの制度が普及していった。」

これは、全脊連の活動成果の歴史に記されている一節です。

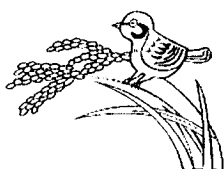
私たちは、この全脊連の成果によって、それ以来約三十五年間にわたり、この制度の恩恵を受けてきたことを決して忘れてはなりません。

先達者が築いてくれたこの大切な制度を今度は、神奈川県支部が他の団体と手を携え、医療費助成制度をみんなで守っていかなければならないと思います。

日常生活のなかで医療とは切っても切れない身体である私たち重度障害者は、これからも引き続き無料で医療が受けられるように、会員一同、力を合わせてこの医療費助成制度、マル障を継続させていく必要があります。

会員の皆様には

何卒ご協力ください
いますようお願い
い申しあげます。



快適消臭パンツ

「ゆにば」

尿集器や尿漏れの臭いが

気になっていたら方に朗報

「臭いも蒸れも気にならない」

「どうして今までなかったの？」

「こんなのがあったらいいな・・・」が
カタチになりました！

伊勢原市にある「地域住環境研究所」の福井義幸社長は十年前に交通事故で脊髄損傷になりカテーテルを使用して排泄をしていますがおいが気になっていました。

三年前に光触媒による消臭効果のある布（チオクリン）があることを知り、三年間かけて官民共同で研究を重ね開発されました。

光触媒は下着では日光にあたらないが、蛍光灯の光で大丈夫だそうです。

洗濯も洗濯機OKで、乾燥機の使用もOKです。

この「ゆにば」を使用する前には、

臭いが気になっていたりしたのですが、「ゆにば」を着用してからは失敗しても周りの人に、気付かれる事はなくなったそうです。

それと嬉しいことに「加齢臭」も消えるというおまけまで付いてきたそうです。

デザインはとてもおしゃれで、色も柄・チェックと五色あります。

値段は四千九百三十五円。

男女兼用でフリーサイズ（ウエストサイズ六十三cm〜九十六cm）です。

商品は代金着払いで送ってくれます。

商品の詳しいことはネットでも見ることが出来ます。

「地域住環境研究所」ホームページの中で紹介され、申し込み・問い合わせもできます。

また、実際に見てみたい方は伊勢原駅から徒歩二分の「合同会社 ゆにば」で直接手に取り見られます。電話でも申し込み問い合わせができます。

伊勢原市桜台1-22-15・33

TEL 0463・95・3741
FAX 0463・93・0032

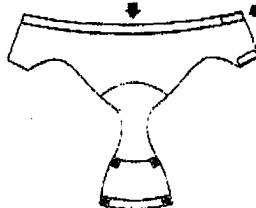


ワンタッチボタン・伸縮性素材で楽ラク装着

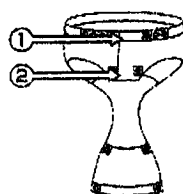
- ① ウエストの位置を決めます。

ここが背中側になります

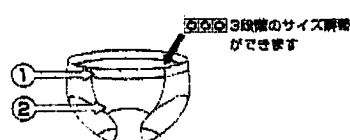
ここがウエストになります



- ② ①ウエストー②腰の順に、マジックテープで留めます。



- ③ 股部分を前側に持ってきます。ウエストからボタンを留め、次に足口を固定してください。



3段階のサイズ調整ができます

第四回吹矢大会 開かれる

体育部 路川 十九夫

三月二十五日、厚木総合福祉センター六階ホールにおいて、吹矢大会が開催されました。午前中あいにくの雨で心配しましたが、東京支部からも参加していただき、予定どおり時間には開始することができました。

今回で吹矢大会は四度目になります。皆さん吹くコツをマスターし、回を重ねることに、かなり上達しているように思われます。

座位バランスが保てず、握力がなく支えることが困難な方でも、台の上にスティックを乗せることにより、ふらつきなく吹くことが可能です。

肺活量を高め、呼吸機能を活発にするこのスポーツを、今後も五回、六回と続けていきたいと思っています。

せっかく道具もそろっていることですから、リハビリのつもりで続けていきましよう。

今回ボランティアを含め十七名で充実した楽しい一日を過ごすことができました。

今後とも会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会員動向

(新入会員)

清水 恵 麻 (川崎協会)

川崎市高津区野川 1976・7・305

松本 秀一 (川崎協会)

川崎市川崎区藤崎4・6・3

大谷 顕 弥 (川崎協会)

川崎市幸区小向西町2・27

柳本 昌 王 (川崎協会)

川崎市麻生区東百合ヶ丘 1丁目40番48・1号

小室 育子 (県央協会)

相模原市津久井町根小屋 2175・5

山口 正 勝 (西湘協会)

静岡県富士市大淵3507・9

佐野 千佳志 (西湘協会)

静岡県富士市久沢2・4・8

榎本 文 平 (西湘協会)

小田原市風祭107・1・302

(住所変更)

桜井 芳 明

川崎市川崎区富士見 1・6・13・904

安達 利 明

大阪市港区市岡2・13・57 しまんと荘

清水 知 武

横浜市都筑区中川 1・2・E-107

城山 忠 士

厚木市恩名1丁目6番56・512

室 住 二三夫

川崎市高津区子母口 783・3・503

岩崎 利 恵

川崎市幸区堀川町 72・21 T2311

山本 昇

川崎市高津区坂戸1・16・9

南 悦 子

ファミリー溝口102 高座郡寒川町宮山975・3・103

Go to drive together.



人と車の未来が広がっていく。



快適なカーライフをお届けするために、ニッシン自動車グループは歩み続けます。



APDライフ



オートスピーコンII



オートボックス



オートリフト



福祉車両総合メーカー 株式会社 ニッシン自動車工業 全国をトータルにサポートいたします。

本社
〒349-1148
埼玉県北埼玉郡大利根町豊野台1-563-12
Tel.0480-72-7221 Fax.0480-72-7223
E-mail:jikou@nissin-apd.co.jp

愛知豊明工場
〒470-1161
愛知県豊明市栄町新左山1-755
Tel.0562-97-1091 Fax.0562-97-1092
E-mail:toyake@nissin-apd.co.jp

NISSIN JIDOUSHA GROUP

一九七七年十二月三日第三種郵便部認可
二〇〇六年五月一日発行(毎月十八回)・二・三・五・六・七の日発行
SSKP増刊通巻第三六三〇号

編集人 横浜市瀬谷区上瀬谷二六―二八
「和」編集部 山崎 昇

発行人 特定非営利活動法人
障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧六―二六―二一

定価 三〇〇円